

巻末資料

1 計画作成の経過

(1) 計画作成の体制

地域計画作成にあたり、文化財保護法 183 条の 9 第 1 項の規定に基づき、千葉市文化財保存活用協議会を設置しました。千葉市教育委員会事務局生涯学習部文化財課が事務局となって地域計画の素案を作成し、千葉市文化財保存活用協議会で検討するとともに、千葉市文化財保護審議会の意見聴取を行いました。

千葉市文化財保存活用協議会 委員名簿

所属		職名	氏名(任期)	備考
1	千葉県教育庁教育振興部文化財課	課長	金井 一喜 (～R5.3) 稲村 弥 (～R6.3) 四柳 隆 (～R7.3) 大内 千年 (R7.4～)	
2	国立大学法人 千葉大学	文学部教授	山田 俊輔	副会長
3	千葉経済大学 地域経済博物館	館長・経済学部教授	菅根 幸裕	会長
4	千葉商工会議所	経営支援部長 〃 企画部長	佐原 恵一 (～R6.12) 穴倉 豊明 (～R7.3) 山田 摩理勢 (R7.4～)	
5	公益社団法人 千葉市観光協会	事務局長	松本 博樹	
6	千葉市郷土芸能保存協会	会長	友野 雅通	
7	特定非営利活動法人 郷土ちばに学び親しむ会	副理事長	小寺 道明	
8	千葉市総合政策局総合政策部 都市アイデンティティ推進課	課長	久能 淳史 (～R5.3) 上坊寺 貴明 (R5.4～)	
9	千葉市市民局生活文化スポーツ部文化振興課	課長	小名木 啓一 (～R5.3) 市倉 秀子 (～R6.3) 吉野 直樹 (R6.4～)	
10	千葉市経済農政局経済部観光プロモーション課	課長	竹田 嘉仁 (～R6.3) 石井 進一 (～R7.3) 高柳 弥 (R7.4～)	
11	千葉市教育委員会事務局生涯学習部 生涯学習振興課	課長	内海 豊 (～R6.3) 志保澤 剛 (R6.4～)	
12	千葉市立加曽利貝塚博物館	館長	神野 信	
13	千葉市立郷土博物館	館長	天野 良介 (～R7.3) 芦田 伸一 (R7.4～)	
14	千葉市美術館	副館長	田辺 昌子 (～R6.3) 松尾 知子 (R6.4～)	
15	千葉市教育委員会事務局生涯学習部文化財課	課長	佐久間 仁央 (～R5.3) 君塚 常行 (R5.4～)	

千葉市文化財保護審議会 委員名簿

氏名（任期）			所属	専門分野	備考
1	井口 雅代	(R3.7~R9.6)	日本工芸会正会員、日本陶芸美術協会会員	工芸(陶芸)	
2	小関 悠一郎	(R3.7~R9.6)	千葉大学教育学部教授	古文書、歴史資料	会長(R5.7~R9.6)
3	山田 俊輔	(R3.7~R9.6)	千葉大学文学部教授	考古学、考古資料、史跡	会長(R3.7~R5.6) 副会長(R7.7~R9.6)
4	神谷 睦代	(R3.7~R9.6)	新潟県立大学教授	工芸(彫刻)	
5	河東 義之	(R3.7~R5.6)	元千葉工業大学教授	近代建築史	副会長(R3.7~R5.6)
	藤木 竜也	(R5.7~R9.6)	千葉工業大学創造工学部教授	建築史	
6	菅根 幸裕	(R3.7~R9.6)	千葉経済大学経済学部教授	民俗学、博物館学	副会長(R5.7~R7.6)
7	吉村 稔子	(R3.7~R9.6)	神田外語大学教授	仏教絵画、文化財修復	

(2) 計画作成の経過

地域計画作成にあたっては、千葉市文化財保存活用協議会や千葉市文化財保護審議会、パブリックコメントを以下のとおり開催・実施し、「千葉市文化財保存活用地域計画」として決定して、文化庁へ認定の申請を行いました。また、市民に広く地域計画を周知し、計画への意見を聞くために、令和 4(2022)年度は市民講座、令和 5(2023)年度はワークショップを行いました。

計画作成の経過

実施日			内容
令和4年度	R4(2022)	10月4日	第1回 文化庁協議(オンライン)
	R5(2023)	2月4日	市民講座 地域に残る文化財と歴史ストーリー 第1回「千葉市に残された江戸時代の村の景観 一緑区小山町を例に一」
		2月11日	第2回「消えゆく雨乞い祈禱行事の保存」
		2月18日	第3回「千葉市域沿岸部の漁業と埋め立ての歴史」
		3月17日	第1回 千葉市文化財保存活用協議会
		3月24日	千葉市文化財保護審議会
令和5年度		12月17日	ワークショップ【1回目】 かたろう つなごう ひろげようー千葉市の歴史・文化ー
	R6(2024)	1月28日	ワークショップ【2回目】 かたろう つなごう ひろげようー千葉市の歴史・文化ー
		3月5日	第2回 文化庁協議(京都)
		3月15日	第2回 千葉市文化財保存活用協議会
		3月28日	千葉市文化財保護審議会
令和6年度		8月7日	第3回 千葉市文化財保存活用協議会
		8月8日	第3回 文化庁協議(オンライン)
		9月17日	千葉市文化財保護審議会
		10月7日	文化庁現地視察
	R7(2025)	1月22日	第4回 文化庁協議(オンライン)
		3月3日	千葉市文化財保護審議会
		3月10日	第4回 千葉市文化財保存活用協議会
令和7年度		5月22日	第5回 千葉市文化財保存活用協議会
		5月28日～ 6月30日	「千葉市文化財保存活用地域計画(案)」パブリックコメント
		7月29日	千葉市文化財保護審議会
		7月31日	第6回 千葉市文化財保存活用協議会
		8月4日	第5回 文化庁協議(オンライン)
		8月21日	令和7年度第1回生涯学習審議会

(3) 市民講座の経過

①実施概要

千葉市の各地域に残る文化財とそれにまつわる歴史ストーリーを市民の方々に知ってもらうことを目的に、市内3地域でそれぞれ開催しました。

各回共通で、千葉市教育委員会事務局生涯学習部文化財課から市民講座の主旨を説明し、各地域に存在する未指定文化財や文化資産を広く保存・活用の対象とできることについて、具体的な例を挙げて紹介しました。また、講師を招いて、各地域の文化財とそれにまつわる歴史ストーリーを紹介しました。

なお、受講者を対象に、講座の受講所感と合わせ、後世に伝えたいと思う身近な文化財や文化資産についてアンケートを実施しました。

市民講座の実施概要

実施日・会場	講師と議題
令和5(2023)年2月4日 午後2時～午後4時 都賀コミュニティセンター (若葉区都賀4丁目20-1)	講師：後藤雅知氏 (立教大学文学部教授、千葉市史編集委員) 「千葉市に残された江戸時代の村の景観 ―緑区小山町を例に―」 【内容】 市内は都市開発が進む昨今ですが、千葉市内陸部の一部の地域は、現在でも江戸時代の街並みが姿を変えずに残っています。この講座は緑区小山町を例に、今も残る当時の村の景観を古地図と比較しながら確認し、地域に残された史料を読み解きます。
令和5(2023)年2月11日 午後2時～午後4時 蘇我コミュニティセンター (中央区今井1丁目14-43)	講師：今井公子氏 (NPO法人ちば・生浜歴史調査会理事、千葉市史編さん会議委員) 「消えゆく雨乞い祈禱行事の保存」 【内容】 むかし、何日も雨が降らず水田が干上がってしまうような日々が続くと(干ばつ)、人々は雨が降ることを願って、竜神の頭をかぶり、雨乞いの舞を神社に奉納しました。緑区椎名崎地区は、地区の人々の手によって雨乞い祈禱に使用された「獅子頭」をはじめとする祭礼道具が保管されてきました。本講座は、同地区で行われていた祭礼の内容を中心に、かつて市内に存在した民俗行事とその継承と保存について考えていきます。
令和5(2023)年2月18日 午後2時～午後4時 高洲コミュニティセンター (美浜区高洲3丁目12-1)	講師：森脇孝広氏 (都留文科大学・高崎経済大学非常勤講師、千葉市史編集委員) 「千葉市域沿岸部の漁業と埋め立ての歴史」 【内容】 市沿岸部は広大な埋め立て地が広がっています。埋め立て以前は、この地で漁業を営む人々の生活が確かに存在していたほか、埋め立てから50年以上が経過し、埋め立て後の街の移り変わりも1つの歴史としてとらえることができます。本講座は、埋め立て前後の土地利用の変遷や漁業の移り変わりを通じて、沿岸部の歴史ストーリーを紐解いていきます。

②受講者の意見

講座の受講者へのアンケートの設問とその結果、寄せられた意見は以下のとおりです。

アンケートの設問

【問１】あなたにあてはまる番号に○をつけてください。（各項目、該当するもの１つだけに○）

- 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上
- 住所 千葉市内 [1-1 中央区 1-2 花見川区 1-3 稲毛区 1-4 若葉区 1-5 緑区 1-6 美浜区]
 2. 千葉県内 3. 県外

【問２】この講座を何で知りましたか。

1. 市政だより 2. ホームページ 3. SNS（Twitter・Facebook など）
4. チラシ（入手場所： ） 5. その他（ ）

【問３】講座の内容はどうでしたか。具体的な理由があればお書き下さい。

1. 難しい 2. わかりやすい 3. もの足りない 4. わからない
（理由： ）

【問４】今後、地域の歴史や文化財に関する市民講座があった場合、受講したいですか。

そう思った理由や希望する内容などがあればお書き下さい。

1. 受講したい 2. 受講したくない 3. わからない
（理由や希望する内容： ）

【問５】地域にある文化財や身近な歴史について魅力を感じていますか。

また、その理由をお書き下さい。

1. 魅力を感じている 2. 魅力を感じていない
（理由： ）

【問６】千葉市の文化財の中で、関心がある文化財はなんですか。（該当するもの全てに○、複数回答可）

1. 遺跡や貝塚、古墳など（加曽利貝塚など） 2. 城館跡
3. 考古資料（土器・石器など） 4. 歴史資料（古文書など）
5. 彫刻、美術工芸品（仏像・絵画・刀剣など）
6. 歴史的な建造物（古民家・長屋門・寺社建築など）
7. 石造物（地蔵・石仏・石碑など） 8. 自然の景観（里山・谷津・海辺など）
9. 歴史的な景観（古い街道・街並みなど） 10. お祭り・年中行事（神社区の祭りなど）
11. 伝統芸能（神楽、お囃子など）
12. 食文化・郷土料理（いももち・土気からし菜など）
13. 戦争の遺跡（鉄道連隊関係、防空壕など） 14. 名勝（稲毛の松林など）
15. とくにない 16. その他（具体的に： ）

【問７】身近にある文化財の保存や活用のために、あなたが参加してみたいことはありますか。

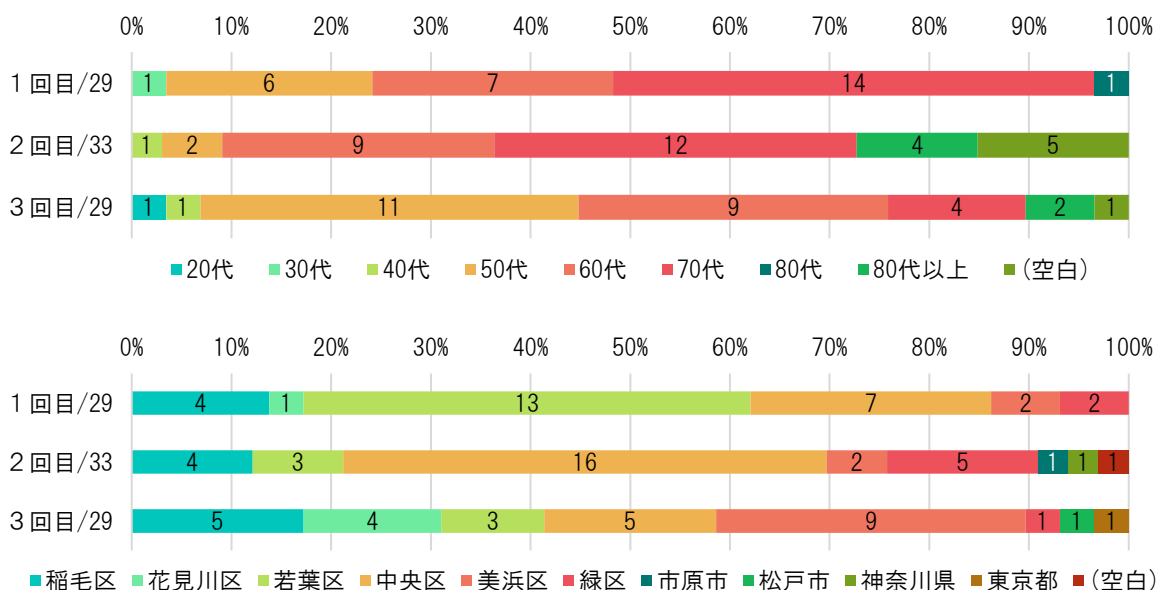
（複数回答可）

1. 文化財保存活用のための寄付 2. 地域の文化財などの清掃活動
3. 文化財のボランティアガイド 4. SNSなどを活用した情報発信
5. 文化財の調査研究活動 6. 祭りや伝統行事への参加・協力
7. 文化財のパトロール 8. 協力できることはない
9. その他（具体的に： ）

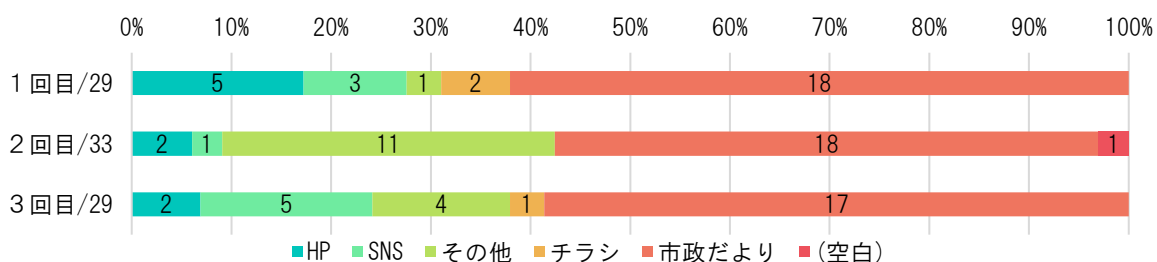
【問８】千葉市における文化財の保存や活用に関して、ご意見等をご自由にお書きください。

（ ）

【問1】年齢/住所

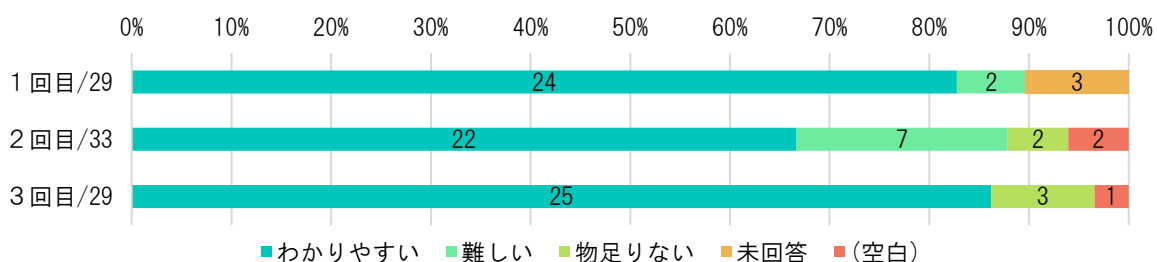


【問2】この講座を何で知りましたか。



※チラシの場所：郷土博2 その他の内容：紹介10、千葉市LINE1、生浜歴史調査会1

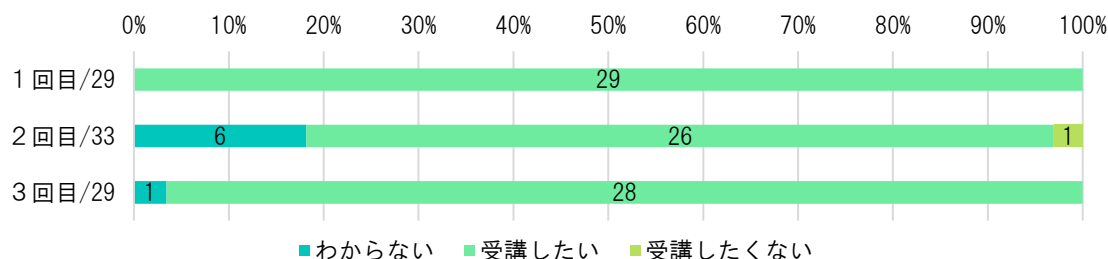
【問3】講座の内容はどうでしたか。



理由：

わかりやすい	本日のテーマの小山町近くに住んでいて、この地域を歩いたことがあるので、興味をもった。	
	古地図と現在の地図を重ね合わせることで判ることの面白さについて。小山町は2つがほとんど一致するケースであったが、場所によっては相違が見られる方が多いだろうし、そこから様々なことが想像できると思い、興味深く感じた。	
	興味深い内容で、実際に行ってみたいくなりました	おもしろかった。旗本と村々人の関係など。
	江戸時代の小山村の状況がよくわかった	狭い地域のことで説明されていたので
難しい	古文書は難しい、写真と絵図の比較は分かりやすく、行ってみたいと思った	
	でも解説はとてもわかりやすかったです。古文書をよんでいただきわかりやすかった。興味を持ちました。	
(空白)	音声聞き難かった	

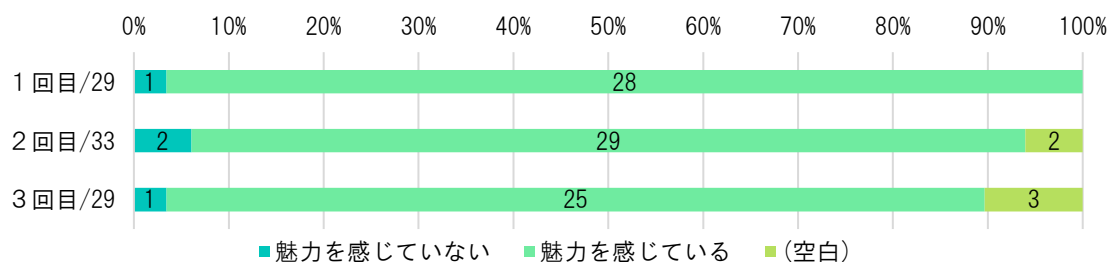
【問4】 今後、地域の歴史や文化財に関する市民講座があった場合、受講したいですか。 _____



理由や希望する内容：

受講したい	江戸時代よりも明治～昭和期の失われた街並みの研究とか。
	自分の時間が取れるようになり、千葉市内のことがまだわからないので学びたいと思いました
	初めて古文書を読みとく講座を受けたので新鮮でした
	知る機会が少ない、知りたい
	他県で育ち千葉に居を構えましたが、千葉についてよく知らないため
	民衆の生活に結びつき、景観保護
	歴史に興味がある
	千葉県、千葉市の中世史
	街道沿いの歴史

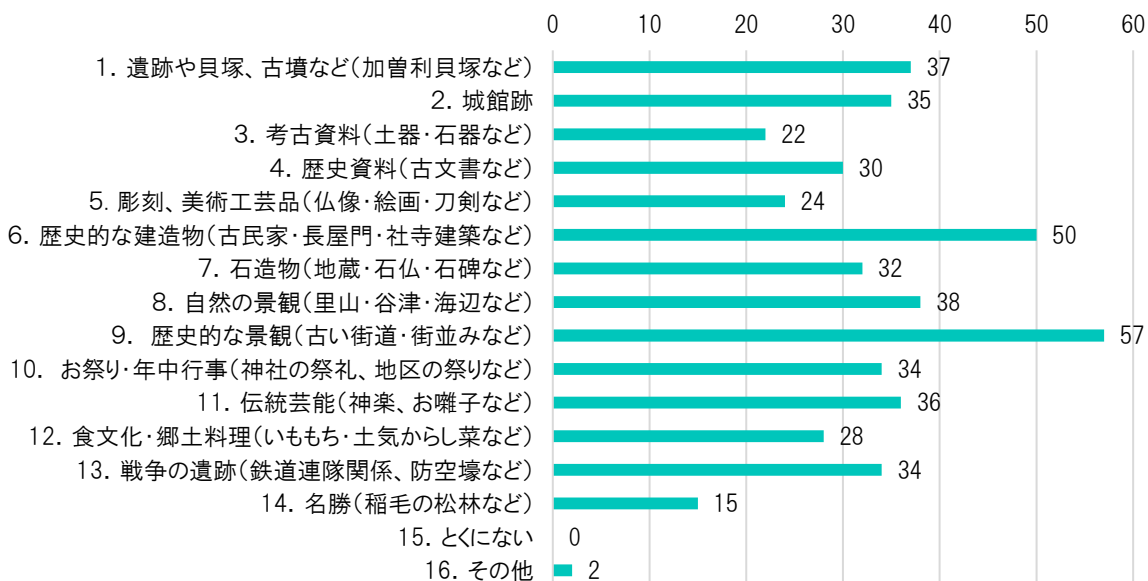
【問5】 地域にある文化財や身近な歴史について魅力を感じていますか。 _____



理由：

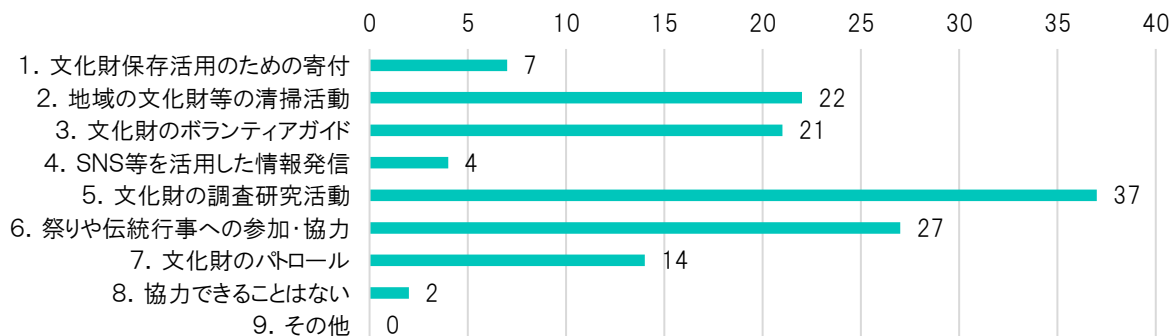
魅力を感じている	放置すればどんどん失われていくことなので記録にでもとどめておくのは有意義
	過去から受け継いでいる貴重なものだから
	時代における一地域のリアルを感じ取り、学ぶことができるため
	過去に戻って取り戻すことができないため、貴重
	先人の生活や考えを知り今に活かすことができると思う
	石に彫られたものもよめない。道祖神をいくつかみつけた。下田町
	知らないことが多いので、知ることはたのしい
	歴史に対し興味がある。
	住んでいる地域に関することなら参加したい
	千葉の歴史興味あり
	埋立地在住のため歴史のある土地に憧れ
	開発前の景観を知りたい
	その時代の生様を感じられる
魅力を感じていない	今までまったく知らなかったもので、今後勉強して魅力を感じていければ

【問6】千葉市の文化財の中で、関心がある文化財はなんですか。



その他の内容：昭和から平成にかけて失われていった景観、街並み、旧国鉄千葉駅や旧京成千葉駅、千葉銀座や新田遊郭など、忘れられようとしているもの／子どもの遊び／水利

【問7】身近にある文化財の保存や活用のために、あなたが参加してみたいことはありますか。



【問8】千葉市における文化財の保存や活用に関する意見等

千葉市の文化財説明板が少ないと思います。文化財の近くに大きな看板を立てるべき。又、遺跡の地(今の住宅等になっていても)は説明板を置くべき。私は北海道から来たものだが、北海道は日本語・英語・アイヌ語で説明板を置いている。	官民で協力すべき、ボランティアで人を確保すべき
江戸時代よりも古い世代の文化財保護が中心になっていると感じますが、明治～昭和の文化財もっと大事にされるべきだなと感じます。	史跡・文化財の現地解説板が少ない
たいへん勉強になりました。ありがとうございました。	幅広い情報発信を期待
・非公開の文化財の公開→関心が高まる ・身障者の方々へのPRも	デジタルアーカイブ
私は岐阜県で育ちましたが、小中学生の時は地域の歴史を授業で学ぶ機会が多かったです。遠足や地域の企画で訪れる機会も多かったです。子供が文化財に触れる機会多いと良いと思います。	郷土博の建物おかしい(天守閣)
文化財をもっと観光に活かしていければ	文化財の中に非公開の多いのはなぜですか。年に数回でも良いので、自分の目で見てみたいと思いました。
	民間にまかせていては消えていくのではないかと思う(気球をつくっていた倉庫)
	アイデンティティ等力を入れているがまだ弱いと感じている
	よりよい保存について意見を出し合って行政を巻き込んで進めていくべき
	昔の風習が消えていくのが寂しい、市と市民が対等な関係性が必要?
	文化財の定義がよくわからない

【別紙】あなたが守りたい身近な文化財教えてください！

あなたが守りたい身近な文化財	所在地	理由または活用方法等
R16 のアリオ～スポーツ公園にかけてある旧防波堤	中央区蘇我	埋立前は水害から人々を守り、今は埋立地の地盤を支えている凄さ。場所によって石垣状になっている。
市内から富士山が見える場所(海浜公園、稲毛駅ホーム、そごう等)	複数	ビュースポットを募集し千葉市富士八景を選定する
東大グラウンド、東京大学旧緑地植物研究所	花見川区畑町・花園町	—
結城舟	中央区結城の浜	—
古い地名	—	—
椎名連絡所	緑区富岡町	生浜町役場と同じくらい古いのでは
境川跡、中橋跡、水所跡	—	行政が開発途中でめちゃくちゃにした
大椎城跡、立山城跡、土気城跡、関連遺跡	—	土気城 土塁や空堀がよく残っている
検見川無線局、馬加康胤首塚、子守神社	—	—
子安観音、馬頭観音	犢橋地区	—
千葉寺十善講関係の石仏	—	—
鉄道連隊の跡(道路/遊歩道)	—	—
大須賀山と近くの力士の墓	—	—
JR 幕張近隣の商店街	—	—
漁業組合解散記念碑	—	中央区塩田町の神社にある、川鉄と合同で建立した旨記載ある
西千葉商店街	—	—
稲毛区小中台 9 丁目にある長い階段	—	台地と低地を結び高低差 20m くらいの階段
道標	寒川付近	房総往還と千葉寺方面へ分岐する地点、千葉寺に向かう道は狭くノスタルジック
子守神社と街道沿いの旧家	—	—
小中台南小学校校庭内井戸	—	学校内に井戸があるのは今では貴重

(4) ワークショップ

①実施概要

「千葉氏」と「海辺」の2つのテーマについて、大切にしていきたい「地域のおたから」とそれらを次世代につないでいくための「保存・活用の取組み」を市民と一緒に考えるワークショップを行いました。

参加者は公募のほか、「千葉氏」と「海辺」に関連する文化財の保存・活用に取り組む団体などにも声をかけ、広く募集しました。

ワークショップの実施概要

かたろう つなごう ひろげよう ―千葉市の歴史・文化―		
開催日時	【1回目】 令和5(2023)年12月17日 午後2時00分～午後4時30分 【2回目】 令和6(2024)年1月28日 午後2時00分～午後4時30分	
会場	千葉市役所 2F XL202・203 会議室	
参加者	千葉氏： 【1回目】 6名、 【2回目】 5名が参加、1グループで実施した。 海辺： 【1回目】 9名、 【2回目】 8名が参加、A・Bの2グループに分けて実施した。	
実施内容	【1回目】	<ul style="list-style-type: none"> ・市から、テーマ「千葉氏・海辺」に関連する地域のおたから、市で行っているこれらを保存・活用する取組みを説明した上でワークショップを行った。 ・グループごとに自己紹介をしたのち、大切にしていきたい「地域のおたから」を付箋に書き、模造紙に貼った。また、自分たちでやってみたい地域のおたからの保存・活用の取組みを付箋に書き、模造紙に貼った。 ・最後に、グループごとに出た意見を発表した。
	【2回目】	<ul style="list-style-type: none"> ・【1回目】のおさらいをして、出た意見の内容を確認した。 ・自分たちがやってみたい保存・活用の取組みについて考えてもらい、個人でやること、グループでやること、市と連携してやること、の3つに分けた。 ・次に「自分たちがやってみたい取組み」をどうしたら実現できるかを考え、身近にできる取組みや参加者を増やすためのアイディア、市にしてもらいたい支援内容等の意見を出した。 ・最後に、グループごとに出た意見を発表した。



ワークショップ実施の様子

②参加者の意見

ワークショップで参加者から出た主な意見は以下のとおりです。

【1回目】の主な意見

	千葉氏グループ	海辺グループ
大切にしていきたい 「地域のおたから」		建物や美術品、古い資料 <ul style="list-style-type: none"> ・八剱神社の神楽殿(南生実町) ・旧・幕張プリンスホテル(現・アパホテル) ・(個人所蔵の)古い写真、海辺 くらしの技術・文化 <ul style="list-style-type: none"> ・浜野カルタ ・浜野の海苔づくり ・あさりの串焼き ・ふうかし(あさりの味噌汁) ・はばのり 祭り・郷土芸能 <ul style="list-style-type: none"> ・親子三代夏祭り ・結城舟 遺跡や伝承地 <ul style="list-style-type: none"> ・小弓城跡の町の様子(散策可) ・旧堤防(寒川地区に残されている) 街並みや景観 <ul style="list-style-type: none"> ・寒川、検見川、幕張に残る昔の街並み
やってみたい 地域のおたからの 保存・活用の取組み	知る・研究する <ul style="list-style-type: none"> ・千葉の街のもとなる神社群の場所の確定とそのコース取り ・千葉山の調査・保存、発掘 守る・修理する <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの地名を残していきたい(千葉市中央区中央に以前あった吾妻町という旧町名) ・広小路の保存(色々な道の起点にもなっている) 魅力を伝える <ul style="list-style-type: none"> ・伝承マップを作成する(各地に残る伝承や地名の位置図) ・常胤像の建設 	知る・研究する <ul style="list-style-type: none"> ・解説と解説(当時の物語づくり)、アニメや動画にする ・打瀬舟の模型・実物大レプリカ作り ・お話づくり(郷土史をストーリー仕立てに) ・ツアーガイドの育成 ・プラタモリ(千葉バージョン) 守る・修理する <ul style="list-style-type: none"> ・後継者づくり(NPOの活動) ・神社の御朱印帳(神社の財政を助ける) ・写真・記録の整理、保管(みんなが魅力を知らないと守る理由に繋がらない) 魅力を伝える <ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理のカフェ(誰でも気軽に行けるスポット) ・写真集「海と緑の街」の再編集(磯部街づくり研究会作成) ・「千葉の海」テーマ展 人とつながる <ul style="list-style-type: none"> ・資金援助、クラウドファンディング ・おたから発掘隊 ・おたから情報館(地域の文化財の情報集約)

【2回目】の主な意見

	千葉氏グループ	海辺グループ
やってみたい 保存・活用の 取組み	<p>個人でやること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事への参加(主催者側として) ・博物館ボランティアへの参加 ・地域の歴史の勉強 <p>グループでやること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事参加者に行事のいわれを説明するボランティア ・だらだら祭り(千葉神社妙見大祭)の船鉾復活 <p>市と連携してやること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ならではの地名を残す(吾妻町、通町) ・千葉山の整備(公園・緑地として整備し、五輪塔を復元) ・活動団体の交流、行事での団結 ・城山～東金街道(塩街道)の散策コースの設定と沿線の文化財の保存と活用 	<p>個人でやること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にかかわらずお祭りに参加する ・個人所有の昔の写真を残す ・千葉の方言(その土地ならではの言葉、呼び方)の伝承 <p>グループでやること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体同士で協力して活動 ・商店街の空き店舗で展示会 ・活動エリアの交換(別の地域で発表してみる) ・グループで資料の収集・調査活動を継続する ・昔ながらの食べ物を食べられるイベント(食は興味のない人に参加してもらいやすい、例：地引網) ・どういうものが文化財か知らせる活動(例：古い写真・資料の展示会) ・古い地名を残す(古い地名で分かる情報)、調べる・伝える、お年寄りから聞いておく <p>市と連携してやること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の寄贈・寄託、寄贈・寄託資料の活用(展示・アーカイブ化) ・地域の方が学校で地域の文化財についての授業を行う ・小学校で地域の方(高齢者)が昔遊びを教え、地域の歴史の話をする
実現するための アイデア	<p>身近にできる取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史の勉強(講座への参加、イベントへの参加) ・自身での勉強 <p>参加者を増やすためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銅像の設置について募金活動をする・クラウドファンディング ・千葉山の調査会の発足 <p>市にしてもらいたい支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事やイベントが一覧で分かるようなツールが欲しい ・イベントに参加をしやすくするための募集内容の工夫 ・博物館ボランティアの活動内容の拡大。ボランティアをしながら学ぶことができるようにする。 	<p>参加者を増やすためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体同士の定期会の開催 ・やりたい取組みを分類して、それぞれのグループを作りたい→グループごとにワークショップを市に開催してほしい、それぞれのグループ活動の広報を市にしてほしい ・ひしお、からし菜といった市の食材、ゆかりの食べ物で作った弁当の開発・販売 ・商店街の空き店舗、大型ショッピングモールのイベントスペースで展示会(食べ物で人を呼ぶ)→市に後援してほしい ・郷土食・伝統食づくりのイベント(空き店舗を荷物置場、地元のお年寄りと子供の交流の場、親は子供を預けて買い物) ・地域の”おたから”候補を見てくれる場所(=おたから情報館、”おたから”とすることができるなら、その鑑定の様子を動画に撮る) <p>市にしてもらいたい支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動(資料保存など)に対する補助金 ・大学と地域・市民を結ぶ機能を市にしてほしい ・市と住民・団体との連携体制の構築(連携を継続するには熱量のある人の確保が必要) ・団体運営・団体間協力、団体からの相談窓口の設置(団体同士の連携サポート)

2 既存文化財調査の報告書リスト

類型	種別	調査名・刊行書名等	報告書等 発行年	発行者/ 調査主体
有形文化財	建造物	千葉県近代社寺建築－千葉県近代社寺建築緊急調査報告書－	1978 S53	千葉県教育委員会
		千葉市文化財調査報告書第三集 千葉市の民家	1979 S54	千葉市教育委員会
		千葉県の近代和風建築 千葉県近代和風建築総合調査報告書	2004 H16	千葉県教育委員会
		千葉県近代建造物実態調査報告書	1993 H5	
		千葉県の産業・交通遺跡－千葉県産業・交通遺跡実態調査報告書－	1998 H10	
	美術工芸品	千葉市内仏像彫刻所在調査報告書 千葉市の仏像	1991 H3	千葉市教育委員会
		房総の仏像彫刻 有形文化財・彫刻	1993 H5	千葉県教育委員会
		千葉県文化財実態調査報告書 絵馬・奉納額・建築彫刻	1996 H8	
		房総の絵画と工芸品 有形文化財〈絵画〉〈工芸品〉	1996 H8	
	無形文化財	千葉県指定伝統的工芸品	- -	千葉県
		房総の祭りと技 無形文化財・無形民俗文化財	1994 H6	千葉県教育委員会
民俗文化財	有形の民俗文化財	千葉県石造文化財調査報告	1980 S55	千葉県教育委員会
		千葉市金石文調査	1981 S56	千葉市教育委員会
		千葉市文化財調査報告書第五集 路傍の石仏		
	無形の民俗文化財	千葉市の民俗芸能	1981 S56	千葉市教育委員会
		千葉県祭り・行事調査報告書	2001 H13	千葉県教育委員会
記念物	-	千葉県史跡名勝天然記念物調査 第1輯、第2輯	1949 S24 ・50 ・25	千葉県教育委員会
	-	千葉県記念物実態調査3	1995 H7	千葉県教育委員会
	遺跡	千葉県石器時代遺跡地名表	1959 S34	千葉県教育委員会
		千葉県中近世遺跡調査目録(中近世調査抄報 昭45、昭46)	1971 S46 ・72 ・47	
		千葉県所在貝塚遺跡詳細分布調査報告書	1983 S58	
		千葉県内縄文時代集落・貝塚詳細分布調査報告書	2021 R3	
		千葉県所在中近世城館跡詳細分布調査報告書Ⅰ －旧下総国地域－	1996 H8	
		千葉県生産遺跡詳細分布調査報告書	1986 S61	
		千葉県所在洞穴遺跡・横穴墓詳細分布調査報告書	2003 H15	
		千葉県歴史の道調査報告書 9 御成街道 11・12 伊南房州通往還 14・16 房総往還Ⅰ・Ⅱ 17 佐倉道 18 海上・河川交通	1987 S62 ～91 ～H3	

類型	種別	調査名・刊行書名等	報告書等 発行年	発行者/ 調査主体
記念物	名勝地	名勝に関する総合調査－全国的な調査（所在調査）の結果－	2013 H25	文化庁
	動物、植物、 地質鉱物	千葉市の保護上重要な野生生物－千葉市レッドリスト－	2004 H16	千葉市野生動植物 生息状況調査検討 委員会
		天然記念物緊急調査報告書－千葉県地質鉱物基礎調査－	1995 H7	千葉県教育委員会
文化的景観		日本の文化的景観－農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究報告書－	2003 H15	文化庁
		ちば文化的景観	2008 H20	千葉県教育委員会
伝統的建造物群		集落・町並－千葉県集落・町並実態調査報告書－	2002 H14	千葉県教育委員会